

航空自衛隊仕様書				
仕様書の種類	内容による分類	装備品等仕様書		
	性質による分類	個別仕様書		
物品番号	8465-428-2296-5		仕様書番号	
品名 又は 件名	衣のう改		C&LPS-D84540-4	
			大臣承認	平成 年 月 日
			作成	平成26年 7月30日
			改正	平成31年 3月 4日
				令和 2年 3月31日
作成部隊等名	補給本部			

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊の自衛官が使用する衣のう改について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C&LPS-Y00007の1.2による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容が、この仕様書の内容と相違する場合は、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 規格

JIS	G	4801	ばね鋼鋼材
JIS	H	3100	銅及び銅合金の板及び条
JIS	H	3260	銅及び銅合金の線
JIS	K	7215	プラスチックのデュロメータ硬さ試験方法
JIS	L	0842	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
JIS	L	0844	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
JIS	L	1030-1	繊維製品の混用率試験方法—第1部：繊維鑑別
JIS	L	1030-2	繊維製品の混用率試験方法—第2部：繊維混用率
JIS	L	1092	繊維製品の防水性試験方法
JIS	L	1093	繊維製品の縫目強さ試験方法
JIS	L	1096	織物及び編物の生地試験方法
JIS	L	2511	ポリエステル縫糸
JIS	L	3416	面ファスナ
JIS	S	3015	スライドファスナ
JIS	Z	1506	外装用段ボール箱
JIS	Z	1507	段ボール箱の形式
JIS	Z	8721	色の表示方法—三属性による表示
NDS	Z	0001	包装の総則

品名	衣のう改
----	------

- NDS Z 8011 角型銘板
- b) 仕様書
- DSP L 4768 帆布
- C&LPS-Y00007 調達品等一般共通仕様書

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、表1による。

表1－材料

項目	規定	用途
表生地	表生地は、付表1によるものとし、ポリエステル生地にOD色の染色を行い、防水機能を有するものとする。	本体、サイドポケット1及び2、玉縁、取手カバー
裏生地	裏生地は、付表2によるものとし、ナイロン生地に、防水機能を有するものとする。	底部、内ポケット
取手	濃紺色の染色を行うものとする。 アクリル製 幅5 cm (基準) とし、形状は付図2によるものとする。	取手
テープ	濃紺色の染色を行うものとし、アクリル製 幅5 cm (基準) とする。	本体取付部
	ナイロン製 厚さ1.2 mm×幅25 mm (基準) 杉綾織とする。	縁取り (本体内側)
スライドファスナ	JIS S 3015のH級チェーン幅10 mm (基準)、黒色、樹脂製及びスライダーは頭合わせ製品とし、南京錠により、施錠が可能なものとする。	本体
	JIS S 3015のMH級チェーン幅8 mm (基準)、黒色、樹脂製及びスライダーは頭合わせ製品とし、南京錠により、施錠が可能なものとする。	サイドポケット
アジャスタ	アジャスタは、付図2によるものとし、JIS H 3100のC2680P、黄銅製、手持ち、肩掛け及び背負いの各用途に応じ、取手の長さを最大75 cmから最小40 cmまで調整可能なものとする。	取手
D環 角環 ナス環	D環、角環及びナス環は、付図2によるものとする。本体は、JIS H 3260のC2700W、黄銅製とする。ばねは、JIS G 4801のSUP6又はSUP7、シリコンマンガン鋼鋼材であるものとし、本体と取手を連結させ、付図1に示すサイドポケット1側の取手の取り外しが容易なものとする。	本体、取手
取手カバー 1	取手カバー1は、付図2によるものとし、JIS L 3416の面ファスナにより、展開及び丸めることが可能であり、取手2本をまとめることが可能で、かつ、取手から切り離すことができないものとし、OD色とする。また、取手2本をまとめ、手持ち及び肩掛け時に取手と身体が接する部分にかかる荷重を、発泡ポリエチレン[厚さ8 mm (基準)]により緩和するものとする。	取手カバー

品 名	衣のう改
-----	------

表 1－材料（続き）

項 目	規 定	用 途
取手カバー 2	取手カバー2は、付図2によるものとする。 取手カバー1のついていない側の取手に取り付けるものとし、取手カバー1により、重ねて丸めることができ、肩掛け時に取手と身体が接する部分にかかる荷重を緩和するものとし、OD色とする。	取手カバー
補強芯	底部を補強し、携行時に形状を維持できるものとする。合成樹脂製とし、板状とする。	底部補強
丸芯	ポリエチレン製とし、直径4 mm（基準）、硬度55以上 J I S K 7 2 1 5による。	玉縁
底ビス	底ビスは、付図2によるものとし、接地による底面の擦れ、破損を防ぐことができるものとする。 樹脂製、黒色とする。	底面
ネームタグ	ネームタグは、付図2によるものとし、樹脂製、白色、取手に取り付け可能なものとし、裏面に航空自衛隊標識（NDS Z 0001による。）を横長に印刷するものとする。	ネームタグ
縫糸	ポリエステル #8 J I S L 2 5 1 1による。 縫糸が目立たない同系色とする。	――
銘板	ブロード40番、白色、裏面樹脂加工とする。	――

2.2 縫製要領

縫製要領は、次による。

- a) 各部の縫い代は、0.5 cmを基準とする。
- b) 針数は、2.5 cm 間隔の表面に現れた縫い目数とし、7針以上とする。
- c) 縫い始め及び縫い終わりは、返し縫いをするものとする。
- d) 縫い飛び及び縫い外れがなく、糸調子は、糸につれ、たるみ及び縫い曲がりが目立たないものとする。

2.3 形状・寸法

形状及び寸法は、付図1及び付図2を基準とする。

なお、許容差が明記されていない場合は、基準を示すものとする。

2.4 外観

仕上がりは、きず、汚れ等の欠点が目立たないものとする。


品 名	衣のう改
-----	------

2.5 製品の表示

2.5.1 銘板

銘板は、**図 1**に示す様式のものを用いて、**付図 1**に示す位置に縫い付けるものとする。

単位 cm

航空自衛隊 		5
物品番号	8465-428-2296-5	
品 名	衣のう改	
納入年度	a)	
契約者	b)	
所属・氏名		
← 3 →		
← 8 →		

注記 1 銘板の枠及び記載事項は、黒色で、にじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷する。

注記 2 銘板の用字及び書体は、**NDS Z 8011**による。

注記 3 寸法は、基準を示す。

注 a) 該当する納入年度を記入する。

例 2019年度

注 b) 契約の相手方の名称又はその略号を記入する。

図 1—銘板

3 品質保証

3.1 試験

品質保証として、**表 2**に示す強度試験を行うものとする。ただし、同一製造業者の同一製品の場合は、2EA以降は必要としない。

表 2—強度試験

試験項目	適用規格・試験方法	判定基準
取手の取付強度	JIS L 1096 のA法（定速伸張形）による。 引張速度：100 mm/min 使用時に力がかかる方向と逆方向に引張るものとする。	295 N (30 kg) 以上であること。
取手の引張強度	JIS L 1096 のA法（定速伸張形）による。 取手から 100 mm 以上の試験片を取り、引張り切断する最大荷重を測定する。 つかみ間隔：70 mm 引張速度：200 mm/min とする。	295 N (30 kg) 以上であること。
底縫いの縫目強度 (底縫いのない製品は除く。)	JIS L 1093 のグラブ法による。	148 N (15 kg) 以上であること。

品 名	衣のう改
-----	------

3.2 監督・検査

契約担当官等の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

4 出荷条件

4.1 包装

包装は、表3による。

表3－包装

区 分		包 装 条 件	包 装 要 領
個 装		ポリエチレン袋	1EAごとポリエチレン袋に入れ、付図3に示す取扱説明書を同封する。
外 装	段ボール箱	JIS Z 1506の複両面段ボール箱3種以上で、箱の形状は、JIS Z 1507の0201とし、箱の大きさは、75×40×45 cmを基準とする。	個装したものの15EAを収納する。 段ボール箱の接合は、平線又はテープによるものとし、包装用テープで上下面ともH形に封かんし、包装用バンドを二の字に掛け締め付けるものとする。
	包装用テープ	幅5 cm以上のものとする。	
	包装用バンド	幅15.5 mm以上のものとする。	

4.2 端数包装

端数のある場合は、4.1 に準じて行うものとする。

4.3 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001の表示・標識による。ただし、表示位置は、2面及び4面とし、表示内容は、次による。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名（製品の呼び方）
- d) 数量
- e) 納入年度

例 2019年度

- f) 契約の相手方の名称又はその略号

5.1 提出書類

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.1 に基づき、類別原資料を提出する。

5.2 承認用見本

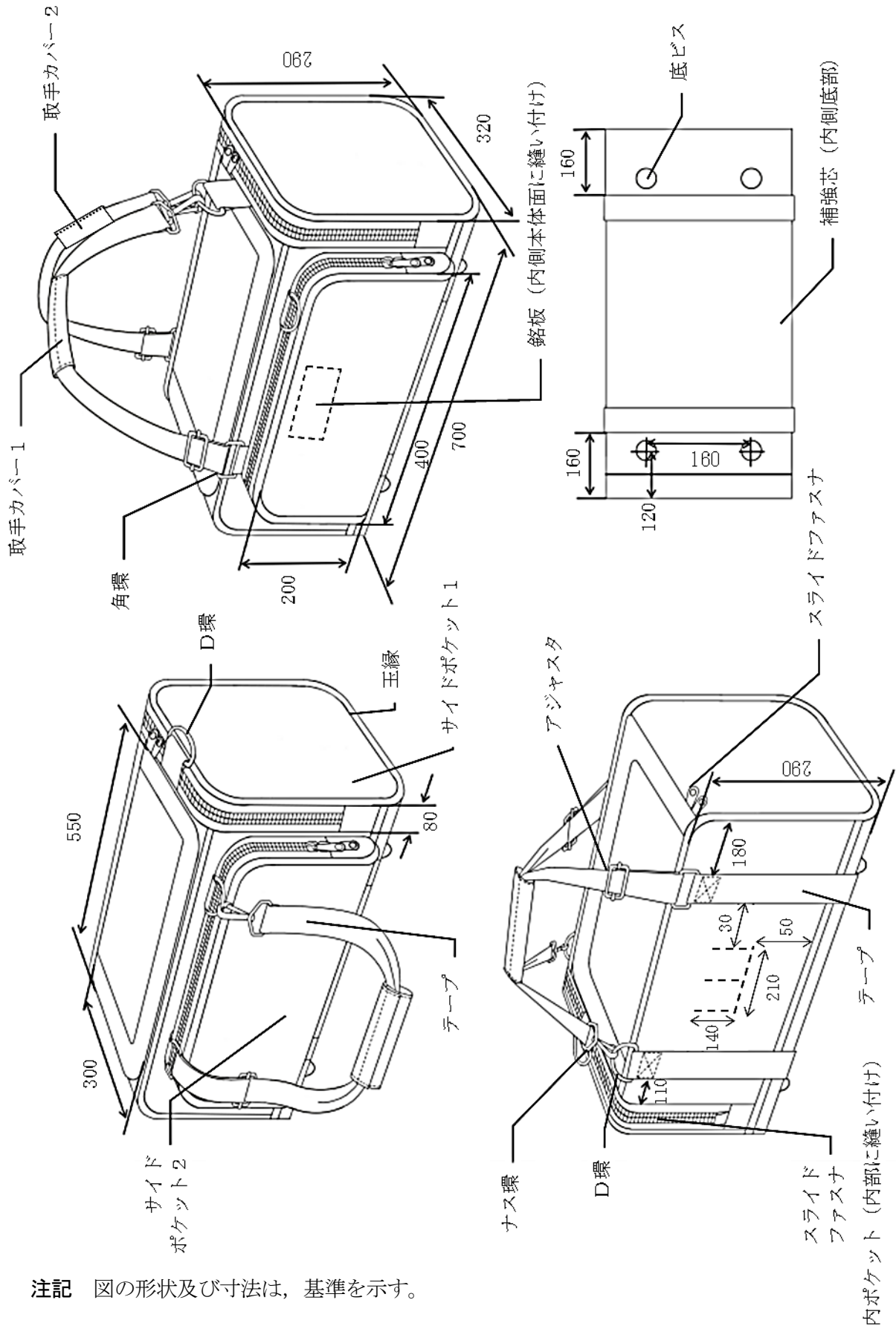
契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3 に基づき、製作に先立ち、承認用見本として製品1EAを契約担当官等に提出し、外観及び色について承認を得なければならない。

付表 1 - 表生地

区 分		規 定	試 験 方 法	
繊維混用率 %		ポリエステル100	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。	
見掛番手 dtex	たて	280/4	JIS L 1096による。 (防水加工を施す前の生地にて 測定)	
	よこ			
組織		平織		
密度 本/2.54 cm	たて	25以上		
	よこ			
質量 g/m ²		430以下		
耐水度 cm	初期	180以上	JIS L 1092のA法による。	
	折り曲げ 荷重後	100以上	DSP L 4768の付属書 Aによる。	
引張強さ N	たて	2100以上	JIS L 1096のA法による。 ただし、試験片の幅は3 cm、つ かみ間隔20 cmとし、引張速度は 20 cm/min±1 cm/minとする。	
	よこ			
引裂強さ N	たて	330以上	JIS L 1096のA-1 法による。	
	よこ			
染色堅ろう 度級	洗濯	4以上	JIS L 0844のA-2 法による。	
	耐光		JIS L 0842の第3露 光法による。	
色		OD色 (1.0Y3.4/1.7)		
		範囲	色相 (H)	1.0Y±1.2
			明度 (V)	3.4±0.3
			彩度 (C)	1.7±0.4
		JIS Z 8721による。		

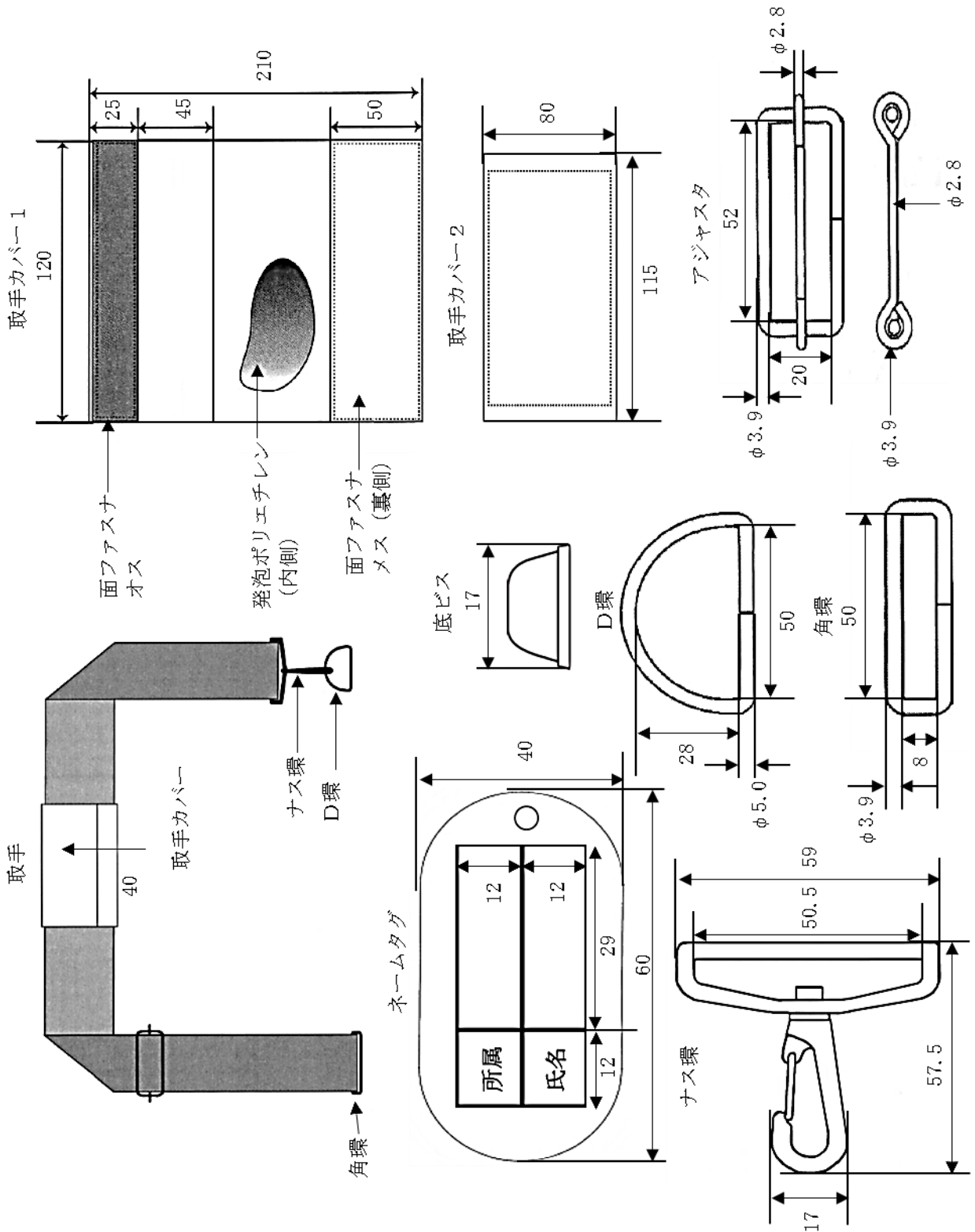
付表 2 - 裏生地

区 分		規 定	試 験 方 法
混用率 %		ナイロン100	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。
耐水度 cm	初期	100以上	JIS L 1092のA法による。
	折り曲げ 荷重後	50以上	DSP L 4768の付属書Aによ る。



注記 図の形状及び寸法は、基準を示す。

付図1-形状・寸法



注記 図の形状及び寸法は、基準を示す。

付図2 - 形状・寸法

衣のう改 取扱説明書

携行要領

No	区分	取扱要領	取手の掛け方	略図	適用例
1	手提げ携行	取手左右を取手カバーでまとめる	ナス環 + D環（横）		【通常使用※】 （開閉が容易） ※執銃、背のう装着時は、左手で持つこと。
2	肩掛け携行	取手左右の輪に手を通して肩に掛ける	手提げ携行に同じ		【小移動に適】 （安定感がある）
		D環（中央）に取手のナス環を掛け手を通して肩に掛ける	ナス環 + D環（中央）		【小移動に適】 （両手が自由に使える）
3	背負い携行	取手のナス環をD環に掛ける。それぞれ手を通し、サイドポケット①を上にして背負う。	ナス環 + D環（中央）		【中移動に適】 （両手が自由に使える）

注記 用紙は、日本産業規格A列4番に印刷するものとする。

付図3-衣のう改 取扱説明書